



誠信交隣 21

縁地連だより

No.16

～ ユネスコ登録への道 ～

朝鮮通信使 UNESCO 世界遺産 韓日 共同 登載を 위한

{ International Symposium }

International Symposium
for Korea-Japan co-listing of Joseon Tonginsa On the UNESCO World Heritage

조선통신사 유네스코 세계유산 등재를 위한

국제심포지엄

International Symposium for Registration of Joseon Tonginsa
the UNESCO World Heritage

2012. 10.19 (日) 13:00~18:00

조선통신사

연고도시 관련 사례 포럼

2012 Joseon Tonginsa KOR-JPN Cultural Exchange Project
Joseon Tonginsa Forum

2012. 10.18 (日) 13:00~18:00

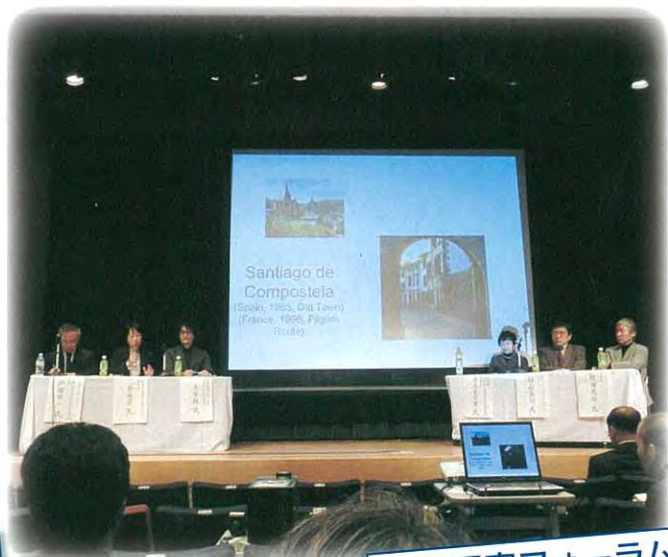
釜山대학교, 한국문화재단, 한국문화재단, 한국문화재단, 한국문화재단, 한국문화재단, 한국문화재단, 한국문화재단



釜山国際シンポジウム



対馬特別講演会



広島研究フォーラム

朝鮮通信使縁地連絡協議会

目 次

■はじめに	朝鮮通信使縁地連絡協議会会長	・・・ 1
< 縁地連の活動 >		
■朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会釜山大会		・・・ 2～3
■朝鮮通信使ユネスコ世界遺産登録のための国際シンポジウム(釜山)		・・・ 4～6
■京都臨時総会の開催		・・・ 7
■その他の縁地連活動 (特別講演会、朝鮮通信使交流議員の会へのお願い、 国立国会図書館、文化庁、韓国文化院)		・・・ 8～11
■広島国際シンポジウム		・・・ 12～14
< 各地域の活動 >		
■人と自然が織りなすしあわせ実感都市 瀬戸内	岡山県 瀬戸内市	・・・ 15
■2013年下関市のイベント紹介	山口県 下関市	・・・ 16
■湖北学講座「日本の歴史を築いた湖北ゆかりの人々」“雨森芳洲”始まる	滋賀県 長浜市	・・・ 17
■朝鮮通信使と大垣	岐阜県 大垣市	・・・ 18
■「松濤園」の御紹介	広島県 蘭島文化振興財団	・・・ 19
■第8回川越「唐人揃い」パレードを終えて	埼玉県 川越唐人揃いパレード実行委員会	・・・ 20～21
■朝鮮通信使祭りパレードin釜山を体験して	長崎県 朝鮮通信使行列振興会	・・・ 22～24
■4年ぶりの「日本歩き」第4次21世紀の朝鮮通信使ウォーク	埼玉県 21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会	・・・ 25～27
< おしらせ >		
■釜山文化財団からのお知らせ	釜山市	・・・ 28
■高麗美術館2013年度展覧会のご案内	京都市 高麗美術館	・・・ 29
○事務局からのご挨拶	長崎県 対馬市	・・・ 30
○会員名簿		・・・ 31～34

はじめに

皆さまにはご家族お揃いで希望の新年をお迎えであったこととお慶び申し上げます。

昨年5月4、5日の両日において開催いたしました第19回釜山大会にはご多忙な折にもかかわらず、遠路わざわざ多数の皆さまにご参加いただき、誠に有り難う御座いました。



また、開催地の釜山広域市では許南植市長様、釜山文化財団の南松祐代表理事様をはじめ多くの関係の皆さまには大変なおもてなしのお心遣いを賜り篤く感謝申し上げます。

先般、瀬戸内市の牛窓を舞台に日本テレビの長寿番組「遠くへ行きたい」の放映がありました。通信使関連の本蓮寺や境内の三重の塔が瀬戸内海のランドマークとして現在も貴重な役割を果たしていること、さらには朝鮮通信使の意義について日本の朱子学に大きな影響を与えたなどの説明も流れ、絶景のロケーションを視つつ懐かしく感じた次第でございます。今後も随時、会員皆さまの故郷が全国に大きく紹介されることを願う次第でございます。

本年は縁地連結成から第20回大会を迎えるという節目にあたります。結成当時から中核的な役割を担っていただいています瀬戸内市の竹久市長様の暖かいご理解によりまして、記念すべき全国交流大会を予定いたしています。秋には瀬戸内市牛窓町において皆さまとお逢いできることを今から楽しみにしています。

おわりに「積小為大」という言葉がございます。通信使は江戸260年間において隣国同士で一切の争いもなく、まさに世界史に誇るべき平和の華であり、江戸時代の文化の華でもございます。全国交流大会をはじめ、日常の小さな交流・取り組みを積み重ね、来たる日韓国交正常化50周年前後には、日韓両国の縁地連関係者をはじめとして「朝鮮通信使のユネスコ登録」という大きな金字塔を立てられるよう、ともに益々活動を活発化させていきたいと思います。

2013年3月

朝鮮通信使縁地連絡協議会 会長

対馬市長 財部能成

朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会釜山大会

報告：縁地連事務局



平成24年5月5日、9年ぶりに韓国釜山広域市で第19回朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会が開催されました。理事会、総会は釜山文化財団の協力を得、釜山市の高台にそびえる韓国風建築のコモドホテルで開催されました。海外にも関わりませずたくさんの方々に参加いただき誠にありがとうございました。

開会式において釜山文化財団の南松祐代表理事が歓迎あいさつの中で「日韓共同で朝鮮通信使をユネスコ登録しましょう」と述べられたのです。この挨拶が発端となって、今年は一気にユネスコ登録への気運が高まり、表紙にもありますように各地で“朝鮮通信使をユネスコ登録するためのシンポジウム”等が開催されました。このことについては、4～11ページで詳しくお知らせします。

午後からは、釜山市の「朝鮮通信使祭り」のメイン会場である龍頭山公園から中心街である南浦洞まで約2キロを大パレード隊が練り歩きます。先頭を対馬藩武士団が務め正使、副使、従事官の輿を守るように朝鮮通信使行列が進みます。その後からは「ようこそ日本行列、I LOVE 釜山行列」の舞踊団、音楽隊が続き、総勢は1200名を越えていました。

夕方18時からは「朝鮮通信使の夕べ」として日韓の芸術交流公演が開かれ、日本からはよさこいダンスの下関市「スタジオホール」、佐世保市「青嵐」、北九州市の小倉祇園太鼓等が披露されました。

朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会釜山大会



▲南浦洞を練り歩く朝鮮通信使行列再現

▲釜山大会のプログラム

5月6日にはミュージカル「対馬物語」が公演されました



▲会場は超満員



▲ステージ横にはハングルの字幕!



対馬市の姉妹都市である、釜山市影島区の文化芸術会館でミュージカル「対馬物語」が公演されましたが、影島区の協力もあり会場は超満員。対馬藩主「宗義智」と妻「マリア」の悲恋に釜山市民の目にも涙が見えていました。対馬市民劇団「漁火」は3回目にして海外公演という偉業を無事終えたのでした。

釜山国際シンポジウム

～朝鮮通信使ユネスコ世界遺産登録のための国際シンポジウム～



■縁故年関連事例フォーラム

日 時：2012年10月18日（木） 13:00～18:00

場 所：釜山市役所12階 国際会議室

主 催：釜山広域市・釜山文化財団

- 釜 山 朴 花珍 朝鮮通信使学会研究理事
「朝鮮通信使学会と釜山」
- 尾 道 新里カオリ 尾道帆布展実行委員会代表
「帆布を活かしたアートイベント尾道帆布展の開催」
- 下蒲刈 渡辺理一郎 蘭島文化振興財団理事長
「朝鮮通信使と下蒲刈島」
- 鞆の浦 木谷正道 21世紀の朝鮮通信使日韓トップ囲碁対局・鞆 副実行委員長
「囲碁で信(まこと)を通わせあう～鞆の浦で花開く新たな日韓文化交流」
- 川 越 小川 満 川越唐人揃いパレード実行委員会事務局長
「川越唐人揃いパレード」
- 横 浜 池田 修 Bank ART 1929 代表
「旅する街～日韓交流の新しい可能性」

■国際シンポジウム

日 時：2012年10月19日（金） 13:00～18:00

場 所：釜山市役所12階 国際会議室

言 語：韓国語－日本語－英語 同時通訳

<基調講演>

◆仲尾 宏（京都造形芸術大学客員教授）

「世界史の中の朝鮮通信使について」

○ユネスコ登録へ向けた重要事項として…

- ・文化財の再調査
- ・組織作り → 関連自治体の協力（市→県→国）
- ・ロードマップ(年次計画)の作成と予算の確保

<発 表>（内容の要約です）

◆マルジット・シム（エストニア ユネスコ委員会 文化プログラム調整員）

「バルティック・ウェイの世界記憶遺産への推薦過程」について発表

- ・1989年、100万人以上が約600kmの人間の鎖 → 平和の文化
- ・2カ国以上の共同推薦に関しては各参加国の割り当て数に含まれない。
- ・世界記憶遺産はまさに資料遺産。現在245の登録が有る。

◆蘆在賢（中央日報論説委員兼文化専門記者）

「朝鮮通信使のユネスコ登録はなぜ進まないのだろうか」について発表

○韓国側の要因

- ・推進体制のルーズさと弱さ
- ・日韓国内における遺跡・遺物の非対称性（韓国には希少）
- ・不十分な登録対象物の把握・分類・まとめ作業
- ・薄い国民的な認識や消極的な政治家の姿勢

○日韓国交正常化50周年の2015年を目標 → 時間が不足では？

○韓国において通信使は釜山に限られたもの？ → 全国化が必要

○記憶遺産・文化遺産等の絞り込みは更なる研究が必要

○2007年7月11日に東京で「朝鮮通信使の道を日韓共同で世界遺産へ」の国際シンポジウムが開かれた。

○遺産の数は圧倒的に日本が多い。8:2 or 9:1

→日韓両国で共同登録しても観光・マーケティング効果の面から「日本だけ得する」

→韓国から「記憶遺産登録を日本より先に進めたほうがいい」という意見あり

○最近の日韓関係の悪化 → 共同登録の道は険しい → 政府と政治家の積極性が必要

→理想的なことは次期の最高指導者が首脳会談で合意すること

◆戸田和吉（靑の浦朝鮮通信使研究会代表）

主に靑の浦の朝鮮通信使の歴史について発表



- 2004年に「港町ネットワーク・瀬戸内」を設立
- 瀬戸内文化圏の世界遺産登録を目標 →「朝鮮通信使の海の道」が可能性大か？
- 現在のところ具体的な方策は明確でない

◆許敬震（延世大学国語国文学科教授）

主に朝鮮通信使の記録遺産について発表

- 朝鮮通信使の使行路を世界文化遺産に登録するための努力は日本から始まった。遺跡の足りない韓国は消極的だった。
- 文化遺産でなく世界記憶遺産として登録しようというキム・ジョンドン韓国建築歴史学会教授の提案が日本と韓国の議論を促すきっかけとなる。
- 文化遺産ではなく、記憶遺産として登録すれば現物は残っていないものも、絵や記憶を活用して登録できる可能性がある。
- 日本と対等な立場で世界遺産登録に向けた運動を展開できる
- 重要なのは世界記憶遺産として登録する方法。

<討 論>

◆嶋村初吉（朝鮮文化を考える会合代表・西日本新聞社記者）

東北アジアの平和的価値について発表

- 儒教の教え、東医宝鑑、雨森芳洲と玄徳潤の交わり…等

◆三宅理一（藤女子大学額副学長）

朝鮮通信使の大まかな内容について発表

- 朝鮮通信使のために計画された建造物と朝鮮通信使ゆかりの建造物では微妙な差がある。
- 朝鮮通信使遺産の保存活用にあたっては、歴史遺産保護や都市計画に関する従来の制度を活用するとともに、住民のコンセンサスの形成が大きな課題。

◆金東哲（釜山大学史学科教授）

主に戸田氏の鞆の浦における「朝鮮通信使の価値と登録対象歴史文化遺産の現況」に対する発表

- 世界遺産登録のためには一定の戦略が必要

◆韓泰文（釜山大学国語国文科教授）

ドキュメント遺産の現状と世界遺産登録の範囲について発表

- 2008年1月12日東京で朝鮮通信使の道について日韓シンポジウムが開催された
- 世界記憶遺産分野の登録の可能性が高いという発表者の意見に賛成
- 日本国王使もあるが、朝鮮通信使だけに焦点を合わせて問題ないか？
- 「朝鮮通信使の使行の道と海の道」の場合必然的に資料と遺跡が重要となる。
- 遺跡は日本に偏重している。

京 都 臨 時 総 会 の 開 催



2012年10月19日に釜山で行われた「朝鮮通信使をユネスコ登録するための国際シンポジウム」を受けて、縁地連としてどのようにこの大きな問題に取り組むべきかを話し合うべく、11月21日に京都市にて臨時総会・理事会を開催しました。

(開催にあたっては、研究部会会長の仲尾宏先生が会場の紹介等奔走いただき誠にありがとうございました。)

◆当初、縁地連としては…

- ・役 割：日本で唯一の朝鮮通信使の組織であり、ユネスコ登録の主体者となるべき…
- ・体 制：自治体の力が必要不可欠となる→自治体による部会の組織案を示す。
別途、独自の活動資金が必要となる→加盟自治体数を考慮し当初予算計上を！
- ・活 動：文化遺産の調査とリスト作成、シンポジウム等の開催、陳情活動、釜山文化財団との協議、部会の開催、その他
- ・方向性：韓国側は記憶遺産を想定して作業を進めている（遺跡の日本偏重）
→記憶遺産と文化遺産の申請については議論が必要
2015年の日韓国交正常化50周年記念に登録を完了したい模様
日韓共同申請の大義名分がある
県への働きかけ、県連合の組織化、国への働きかけ
朝鮮通信使交流議員の会への協力要請→政府への働きかけ

という方向性を考えていましたが、韓国の動きとして、韓国の国立中央図書館が日本の国立国会図書館と連携して、電子化し保有している「使行録」と「筆談唱和集」で記憶遺産の申請をしようという動きがあることが判明しました。

いろいろな意見（ブログに要約掲載済み）がありましたが、結局、両図書館の様子をみるということで意見が一致し、国会図書館への訪問と、今後もこの取り組みを進めて行くことを確認し会を終了しました。

また、ユネスコ登録後の文献の追加登録が可能かどうか？ 記憶遺産、文化遺産のジャンルを分けて登録可能かどうかを確認する必要があるという意見がありました。

その他の縁地連の活動

◆朝鮮通信使特別講演会（対馬市）

通信使特別講演

ユネスコ登録への道をさ



仲尾 宏 先生



西村 幸夫 先生

平成24年10月1日に対馬市において研究部会会長の仲尾宏先生と東京大学副学長で日本イコモス国内委員委員長の西村幸夫先生をお呼びして朝鮮通信使特別講演会が開催されました。内容は朝鮮通信使のユネスコ登録に向けての講演会で、まず、そもそも世界遺産とは何？という基本的なことからのスタートとなりました。

西村先生の講演では、最近「文化の道、平和行進の道」といった国を超えたノミネーションの傾向が出てきており、新たなジャンルが近い将来できるかも知れないとのことでした。

<1月22日の東京出張の報告>

◆国立国会図書館への訪問

韓国の国立中央図書館と日本の国立国会図書館による記憶遺産登録の動きがあるとの情報から、臨時総会でも協議したように、1月23日に国立国会図書館を訪問しました。

メンバーは、財部会長、松原理事長、阿比留事務局長と対馬市の平山副本部長です。大滝図書館長をはじめ担当の本吉課長、幡谷課長補佐から対応していただきました。MOUを締結している韓国の国立中央図書館から共同でユネスコ登録の話があったが、使行録と筆談唱和集だけをもって記憶遺産登録するのはいかがなものか（資料不足ではないか？）ということで、内容をお返ししているということでした。また、日韓国交正常化50周年記念の2015年までに登録することは非常にスケジュールがタイトで対応出来ないという感想を持っておられました。

また文化庁への相談窓口としてユネスコ協力官のご紹介をいただきました。

◆文部科学省への訪問

国会図書館からご紹介をいただいた時に、文科省に電話を入れ、1時間後にお会いできないかとの電話に、先方の協力官は快く対応していただきました。

文科省を早速訪問しましたところ、関係の方々に声をかけていただいております。大臣官房国政課国際協力政策室長、文化庁長官官房国際文化交流室長、文化庁国際文化財交流協力官の4名で対応していただきました。

まさしく、ユネスコ登録の国の担当者とも言える方々の生の意見を聴くことができました。またここで、臨時総会での確認事項についても質問することができました。

①記憶遺産と文化遺産のダブル登録は可能でしょうか？

→記憶遺産は文書、文化遺産は不動産を対象とするもので、ジャンルが違うから可能である。

②記憶遺産登録後に資料追加が可能でしょうか？

→記憶遺産は完全に近いコレクションであることが大前提であるため、追加されることは不完全ということになる。よって追加はできない。また、不完全な状態で申請されれば、審査で落とされる可能性が高い。

という回答でした。

現在、文化庁が2つの記憶遺産を提案している。

地方の自治体・団体からも記憶遺産は申請が可能。（ユネスコへ直接申請可能）

また、来年3月がユネスコ登録申請の締切であり、2015年6月に結果が出る予定。非常にスケジュールがタイトであるから、2015年に登録ではなく、スタートの年としてはいかがか？という提案もいただきました。

特に注意点として、コレクションの完全体が必要で、国の重要文化財（国宝）であることが、一定の基準となっているということでした。

◆韓国文化院訪問

次に韓国文化院を松原理事長と阿比留事務局長の二人で訪問しました。

沈東燮（シム・ドンソプ）文化院長と金康植（キム・カンシク）公演運営チーム長から対応していただきました。

国会図書館とのやりとりをお話すると、韓国側は、国会図書館から断られたと思っていると認識していると話されました。国会図書館の考えを伝えたところ、認識の違いは確認しますとのことでした。

また、2015年には朝鮮通信使に関連するイベントを開催したいと考えている旨を伝えたところ、西日本は大阪韓国文化院の管轄ですが、連携して協力したいと話されました。

・ユネスコ登録の動きは既に韓国政府の首相が決定しており政府として動いている。

・韓国の文化財庁は日本の文化庁と合同ミーティングを実施したいと思っている。

ということがわかりました。



▶対馬市内の郵便局が朝鮮通信使切手シートを作成

◆朝鮮通信使交流議員の会への陳情書提出



◀陳情書提出の様子
(右から谷川弥一議員、河村建夫議員、財部会長、松原理事長)

前日の1月22日には超党派の国会議員で組織する「朝鮮通信使交流議員の会」の河村建夫会長と谷川弥一幹事長に陳情書を提出しました。

陳情書の内容は、次の通りです。

1. 朝鮮通信使のユネスコ登録（記憶遺産）について

＜背景＞

- ①竹島問題により両国間の関係が冷え込んでいる。
- ②2015年（平成27年）が日韓外交正常化50周年を迎える。
- ③2月25日に朴槿恵韓国大統領就任式。

＜朝鮮通信使交流議員の会への取組願い＞

- ①朝鮮通信使交流議員の会及び朝鮮通信使縁地連絡協議会の連名による建議書を官邸へ提出
- ②朝鮮通信使交流議員の会による官邸への働きかけ

<行 動>

大統領就任式の折、安倍総理との首脳会談にて、日本から平和の象徴である「朝鮮通信使」のユネスコ登録を平成27年（2015年）の日韓国交正常化50周年に登録できるよう「両国共同申請」で取り組もうという提案をし、両首脳が合意し握手する。

<効 果>

- ①両国の共同申請の取組として明るい話題を提供し、マスコミに大々的にとりあげ、日韓関係の修復の契機を図る。
- ②トップダウン的に両国の政府や関係機関などユネスコ登録に向けた動きが活発化する。
- ③歴史認識の一環として、効果的

2. 国交正常化50周年イベントの誘致について

平成27年（2015年）は日韓国交正常化50周年に当たります。ユネスコ登録の動きに合わせた記念イベントとして朝鮮通信使関連事業を国の事業として行いたい。

この2点を朝鮮通信使交流議員の会の活動として官邸・政府機関に働きかけをしていただくようお願いしました。

◆釜山文化財団との協議

- ・ 1月 8日 東京出張を前に、釜山において釜山文化財団の南松祐代表理事及び車載根室長と会談し縁地連と文化財団との方向性について協議し確認をしました。
- ・ 2月19日 広島国際シンポジウムを前に、対馬市において車載根室長、金汝昇主任と協議し、政府主導によるユネスコ登録活動の報告性と推進委員会体制について協議し確認をしました。

広島研究フォーラム「朝鮮通信使寄港地の過去・現在・未来」



世界遺産から、世界遺産までを、世界遺産へ! (by 夫学柱氏)

平成25年2月23日～24日に朝鮮通信使フォーラム実行委員会主催により研究フォーラムが開催されました。

初日は戸田和吉さんの案内で朝鮮通信使の寄港地「鞆の浦」の視察と交流会が開催され、「日東第一形勝」の眺めと、鞆の浦の歴史を閉じ込めた町屋を見学させていただきました。

翌24日は広島県福山市の県立博物館において研究報告会及びシンポジウムが開催されました。研究報告は、鈴木康之氏（広島県立歴史博物館 主任学芸員）、韓泰文氏（釜山大学国語国文学科教授）、仲尾宏氏（京都造形大学客員教授）が発表されました。

シンポジウムでは、パネリストに金美景氏（広島市立大学広島平和研究所准教授）、夫学柱氏（倭館再建の会代表）、井上美登里氏（縁地連研究部会事務局）、柏山泰訓氏（港町ネットワーク瀬戸内代表）村田民雄氏（NGOひろしま理事長）、コーディネーターに戸田常一氏（広島大学大学院社会科学研究科教授）が限られた時間の中で自分たちの思いを話されました。



◀ 戸田さんと視察団



◀ 福禪寺



◀ 対潮楼から望む「日東第一形勝」の眺め



◀ 常夜燈

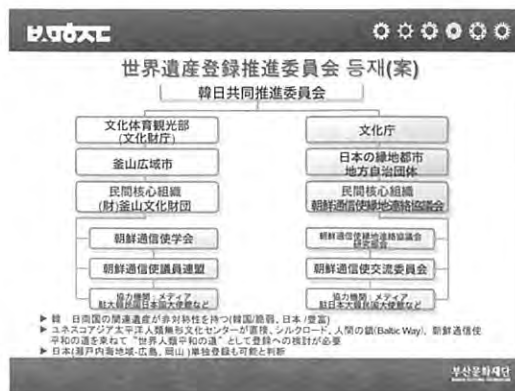
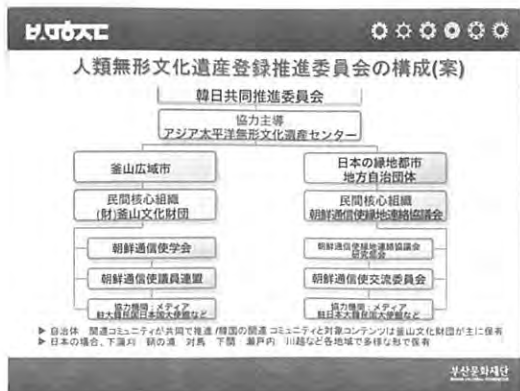
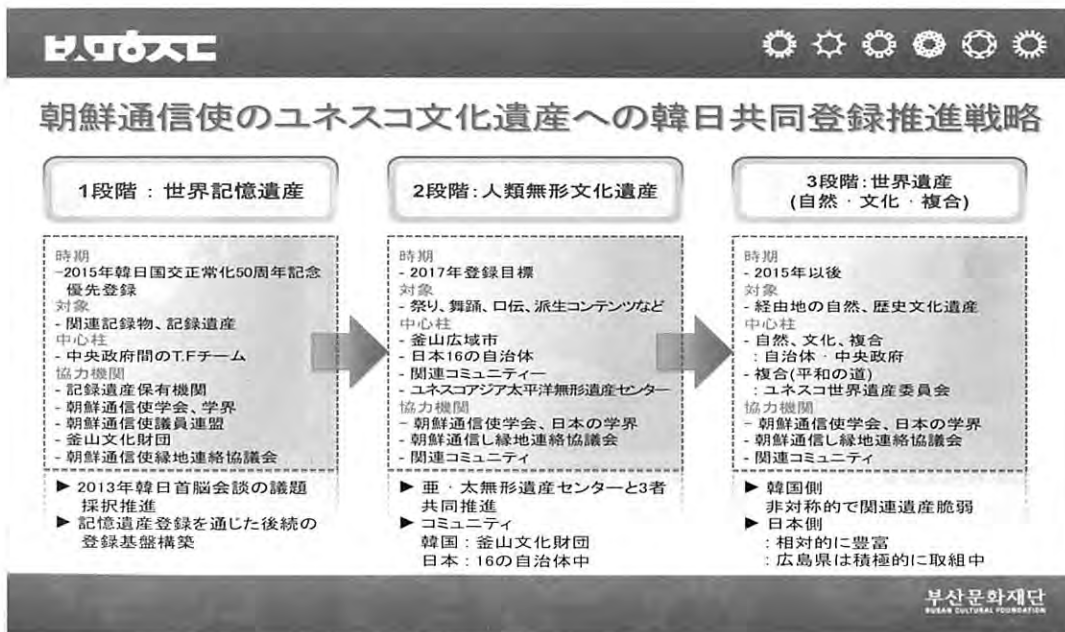
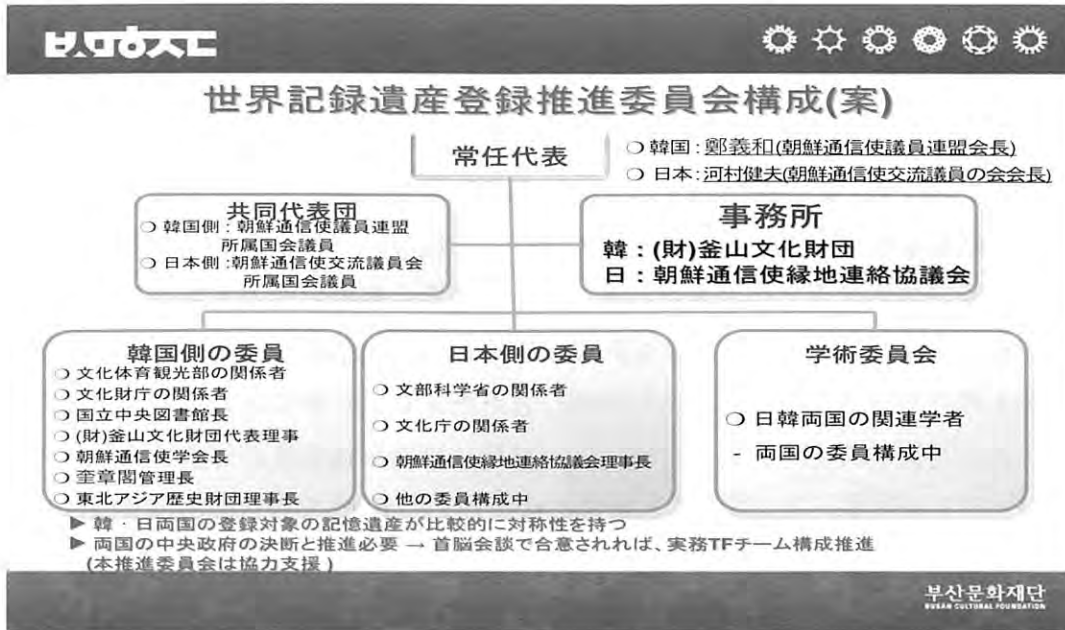
＜基調報告＞

パネルディスカッションの前に行われた基調報告では、釜山文化財団の車載根文芸振興室長がユネスコ登録についての詳しい話や、今後の記憶遺産無形文化遺産、文化遺産への実施戦略を熱く報告されました。

事前に縁地連とも打合せをしており、双方とも同じ方向に向かって推進していくことを確認しています。



▲基調報告をする釜山文化財団の車載根室長と金汝昇主任



人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内

瀬戸内市は岡山県の南東部に位置し、「日本のエーゲ海」ともいわれる瀬戸内海国立公園を形成する島しょ部や海岸線をはじめ、オリーブ園等の緑豊かな丘陵や田園などの自然に恵まれた美しい景観で彩られたまちです。

また、瀬戸内市は古くから開けたまちとして栄え、備前長船の刀剣や古窯跡群等の歴史、大正ロマンの叙情画家「竹久夢二」の生家等の文化資源があります。

中でも瀬戸内市牛窓町は、「美しの窓」とたたえられ、古くは万葉の時代から、風待ち・潮待ちの港町として栄え、特に江戸時代には朝鮮通信使が寄港し、本蓮寺や御茶屋跡など当時の歴史的文化遺産も数多く残されています。

今回、朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会の記念すべき第20回大会がここ瀬戸内市で開催されます。(平成25年11月)朝鮮通信使の基本理念である「誠信の交隣」を基に、新たな未来に向けての善隣友好の第一歩となることを目的として開催したいと考えておりますので、ぜひご参加ください。

 <p>本蓮寺《国・県指定重要文化財》 朝鮮通信使の接待処となった場所。室町時代に建てられた、本堂・中門・番神堂は国の重要文化財。</p>	 <p>唐子踊《県指定無形民俗文化財》 牛窓紺浦地区に伝わる伝統芸能。秋祭りに疫神社などで奉納され、異国風の衣裳を着た2人の稚児が、小太鼓、横笛、歌に合わせ踊るもの。</p>	 <p>しおまち唐琴通り 朝鮮通信使にまつわる本蓮寺や御茶屋跡、白壁の土蔵、格子戸、旧中国銀行、燈籠堂跡など、伝統的建造物や遺跡が点在。</p>
 <p>旧香川邸（御茶屋跡） 岡山藩により建造され、朝鮮通信使、幕吏などの接待や藩士の保養などに使われた。</p>	 <p>海遊文化館 元々警察署として建てられた洋館。現在、朝鮮通信使との文化交流資料を展示する資料館。だんじりも展示。</p>	 <p>瀬戸内牛窓国際交流フェスタ 平成22年渡から民間主催で毎年秋に開催。地元小学生によるサムルノリの演奏や朝鮮通信使行列など実施。</p>

2013年 下関市のイベント紹介

本州最西端に位置する下関市は、古くから大陸との交通の要衝であり、また朝鮮通信使使節団一行の本州最初の上陸地でもありました。当時朝鮮通信使一行が宿泊した阿弥陀寺（現在の赤間神宮）前には、「朝鮮通信使淹留（えんりゅう）の地」記念碑が建立されています。

毎年夏に開催される下関三大まつりのひとつ「しものせき馬関まつり」では、釜山文化財団と合同で「朝鮮通信使行列再現」と「日韓文化交流公演」を行っており今年10回目の節目の年を迎えます。

昨年度は新しい取り組みとして、「こども通信使行列」を行い、かわいい通信使の出現にお祭りにご来場いただいた多くの皆様からご賞賛いただきました。「日韓文化交流公演」では「下関・釜山ふれあいステージ」と題し、下関と釜山の文化団体による唄や舞踊やダンス等魅力あるステージが展開されました。今年はさらにバージョンアップし、多くの皆様楽しんでいただける日韓交流イベントを開催予定です。



今年にはさらにバージョンアップし、多くの皆様楽しんでいただける日韓交流イベントを開催予定です。

なお、「しものせき馬関まつり」期間中は他にも様々なイベントを開催しております。特に「日韓文化交流公演」終了後に開催される下関郷土芸能の「平家総踊り」では、数千人を超える踊り手が下関中心の大通りの会場を埋め尽くし、見るだけでも平家踊りの魅力、太鼓のリズムの迫力を実感していただけます。

夏休み最後の土日は“海峡のまち下関”で楽しい思い出をつくってみませんか。多くの皆様の下関へのお越しをお待ちしております。

◆イベント一覧

日 程	行 事 名	場 所
5月2日～4日	しものせき海峡まつり	赤間神宮・巖流島ほか関門海峡沿岸一帯
8月24日・25日	しものせき馬関まつり (朝鮮通信使行列再現あり)	J R下関駅から唐戸までの各所
11月23日	下関さかな祭り リトル釜山フェスタ	下関漁港 グリーンモール商店街

湖北学講座「日本の歴史を築いた湖北ゆかりの人々」 “雨森芳洲”始まる

長浜市は滋賀県の東北部に位置し、北は福井県、東は岐阜県に接しています。東には伊吹山系の山々、西に琵琶湖が広がり、中央には琵琶湖に注ぐ姉川や高時川・余呉川等により形成された平野部に市街地や集落が広がっています。県内でも優れた自然景観の中に、北国街道や北国脇往還、戦国時代を偲ばせる小谷城跡・姉川古戦場・竹生島や国宝十一面観音立像・賤ヶ岳古戦場など優れた歴史的文化遺産を有しています。

去年は、「長浜・戦国大河ふるさと博」を3月から12月にかけて開催し、全国から約30万人のお客様にお越しいただきました。湖北に点在する歴史史跡「小谷城跡・賤ヶ岳古戦場・竹生島」を野外博物館に見立て、湖北地域にも多くの観光客が訪れました。

また同時に、長浜城歴史博物館では湖北学講座「日本の歴史を築いた湖北ゆかりの人々」を開講し、第1回講座では「誠意と信義の交わり 雨森芳洲」について雨森芳洲庵の平井館長が講演されました。

秋には、国の重文に指定されている雨森芳洲の書物や資料の特別陳列も開催され、長浜城を訪れた多くの観光客が芳洲の人物・思想と業績、そして江戸時代の国際関係を再認識し、あわせて今後の国際交流を考える契機にさせていただきました。



▲特別展開催のポスター



▲「長浜・戦国大河ふるさと博」ロゴマーク

▲長浜城に集合した湖北ゆかりの“ゆるキャラ”たち

朝鮮通信使と大垣

1. 朝鮮通信使と朝鮮山車

大垣市には、毎年5月に大垣まつりという360年余の伝統を誇る祭りがあります。大垣まつりは、10か町がそれぞれ軸（やま）を曳き回し、さらに江戸時代に大垣藩主戸田氏より賜った3両の軸を持ちまわって全13両の軸を8.8kmにわたり曳き回します。

その中の竹島町では、かつて朝鮮山車とよばれる行列を行っていました。美濃路が通る大垣市は、朝鮮通信使の経由地であり、慶長12年・寛永元年（1624）、明暦元年（1655）など計10回訪れています。朝鮮山車は、その美濃路大垣宿を通った朝鮮使節の行列に模したもので、正保5年（1648）に造られたとされています。明治の初めまで大垣まつりに軸の一つとして登場していましたが、その独特な行列や意匠ゆえに神事に関係しないことなどによって廃止されました。

2. 朝鮮山車遺品

現存する朝鮮山車の遺品は、江戸時代まで大垣まつりで曳き回された朝鮮山車の付属品で、長く竹島町の軸蔵に保管されていたものです。

遺品の中でも特に目を引くのが、大将官人形の頭と装束です。頭は木製で、顔はいかつく白く塗られ、頭には黒と金で彩色された紙製の冠をかぶっています。装束は布製で、金の龍と雲形が金糸で織り込まれています。このほかにも旗や胡弓、軍配などが残っており、大垣祭軸とともに岐阜県の重要有形民俗文化財に指定されています。これら遺品のうち、大将官人形頭、大将官人形衣装・陣羽織・朝鮮王旗などは、大垣市郷土館において公開展示されています。



3. 美濃路の整備

大垣市では、中心市街地に点在する歴史・文化観光資源をつなぎ、回遊性向上、魅力向上を図り、まちなか観光の推進、中心市街地の活性化を推進するため、朝鮮通信使も通った美濃路街道を整備しています。

平成24年度は、竹島町にある美濃路大垣宿本陣跡の改修工事を実施しており、平成25年3月に完成します。また、平成25年度からは、街道の整備を実施します。

「松濤園」の御紹介

1. 松濤園（しょうとうえん）



当財団のある呉市下蒲刈町は、呉市との合併前の平成3（1991）年に全島庭園化（ガーデン・アイランド）構想をまとめ島おこしに取り組み、多くの文化施設を設置しました。その中核として平成6（1994）年3月に開園したのが『松濤園』です。瀬戸内海を借景とした庭園内に“陶磁器館”“朝鮮通信使資料館「御馳走一番館」”“あかりの館”“蒲刈島御番所（復元）”があり、訪れる方々に歴史

のロマンと癒しの景観を楽しんで頂いています。

松濤園のメインとなる展示館が“朝鮮通信使資料館「御馳走一番館」”です。明治中頃の富山県砺波地方の代表的な商屋造である「有川邸」を移築し、日本全国に残されていた朝鮮通信使にまつわる資料を収集・保存・展示しています。また、これらの資料を元に再現した模型も見ものです。下蒲刈での宿泊場所周辺である三之瀬御本陣や長雁木（通称：福島雁木）のジオラマ模型や、朝鮮通信使をもてなした饗応料理の復元模型、朝鮮通信使船の10分の1模型などから、当時の日韓交流に思いを馳せていただければ幸いです。



2. 朝鮮通信使再現行列

毎年10月第3日曜日に開催しているイベントです。下蒲刈町の、松濤園や蘭島閣美術館が並ぶ石畳道路を、約250人の朝鮮通信使や侍に扮した人々が練り歩きます。今年は10月20日日曜日に第11回目を開催します。



例年、駐広島大韓民国総領事館や在日本大韓国民団広島県地方本部の皆様のご協力を得ながら町民が一体となり開催しています。

毎年多くの観客が現代によみがえった朝鮮通信使の一行を見に来島します。

第8回川越「唐人揃い」パレードを終えて

昨年11月11日（日）の天気予報は午後から雨というものだった。実行委員や参加者誰もが何とか降らないでくれ、と祈っていた。これまで7回のパレードは、朝まで雨が降っていたが奇跡的に止んだこともあり、午後のパレードは一度も中止にはならなかった。主催者として、この天気だけはどうすることもできず毎年一番の心配の種である。

しかも、今年は初めて釜山文化財団が派遣してくれた「南山ノリマダン」というサムルノリチームが参加する。是非ともいいコンディションでパフォーマンスして欲しいと思っていた。

曇り空の中、12時に蓮馨寺の境内で開会式を行い、12時30分パレード出発、途中パフォーマンスの時間を取って、3時には出発地に戻り、閉会式。ゲストのパフォーマンスを見た後、みんなでカンガンスォレを踊り、記念写真を撮っていたらザーと降ってきた。セーフ！その後、片づけは大変だったが、何とかパレードは無事終えた。



▲南山ノリマダンの演舞

みんなの思いが天に通じたのだろう。

ということで、竹島問題で開催を心配する声もあったが、第8回「復活！唐人揃い一朝鮮通信使一多文化共生・国際交流パレード」は無事終了した。

今回のパレードは、川越市市制施行90周年ということで少し補助金も出たので、張り切っているいろいろなプレ企画なども行った。

まず、朝鮮通信使の人形展。広島の方光元さんが個人で全国各地の通信使人形を収集して展示会をされていることを知り、ぜひ川越で展示を、と連絡したところ快諾して頂いた。3日間の展示であったが、広島から埼玉まで800キロの道のりをワゴン車に人形を積み込み、奥様と一緒に来て頂いた。展示会場も広いところは用意できなかったけど、いろんな人に見てもらえてよかった、とおっしゃってくれたので救われた。カムサハムニダ。

また、人形展と同じ場所で写真展も行った。昨年のパレードと「日韓友情ウォーク」の写真展である。友情ウォークに2007年の第1回目から参加されている金井三喜雄さんが撮った写真パネルを展示して見てもらった。

それから、仲尾宏先生に来ていただき「朝鮮通信使から学ぶもの」と題した講演会

とシンポジウムを行い、竹島問題で揺れる今こそ通信使の誠信外交に学ぶことが大切だと確信した。

さて、パレードは、通信使行列以外に「南山ノリマダン」や韓国文化院からも「ミンヨンチ」サムルノリチームや金順子韓舞楽芸術団の七面太鼓、それから埼玉在住のタイ人も初参加するなど楽しい「多文化共生・国際交流」のパレードになった。今年もさらに進化したパレードを目指したいと思う。

가와고에 토진소로이

제8회 부활! 토진소로이—조선통신사— 2012.11.11(일)
다문화공생·국제교류 퍼레이드 12:30-14:30



【主催】
川越唐人揃いパレード実行委員会
(代表:江原善章)
【主催】가와고에 토진소로이 퍼레이드 실행 위원회
(대표:예프 요시아키)
090-7422-2002 (小川)
tojin-zoroi.p1.bindsite.jp

【後援】
川越市/川越市教育委員会
川越商工会議所/小江戸川越観光協会
埼玉県/埼玉県教育委員会/埼玉県国際交流協会
川越氷川神社/蓮馨寺/高麗神社
駐日韓国大使館 韓国文化院
在日本大韓国民団埼玉県地方本部
在日本朝鮮人総聯合会埼玉県本部

川越唐人揃い

とうじんぞろい

第8回復活! 唐人揃い—朝鮮通信使—
多文化共生・国際交流パレード

2012年
11月11日(日)
12時半～14時半
蔵造り通り
(小雨決行)



朝鮮通信使祭パレード in 釜山を体験して

朝鮮通信使行列振興会

事務局 阿比留 新 吾

私が朝鮮通信使行列振興会（組織については、縁地連だよりNo.14、P.24にて紹介）の事務局を担当するようになったのは、昨年（2011年）の5月1日からでした。というのも5月1日付けで人事異動があり今の部署（観光物産推進本部）に配属されてから担当するようになりました。異動してから3日目、私は韓国釜山にいました。

釜山で毎年開催されています朝鮮通信使祭のパレードに行列振興会として参加しているとのことで、行列振興会役員と一般参加の市民併せて43名を引率するのが最初の仕事でした。私は、右も左も分からぬまま、この43名と共に釜山へ出発したのでした。

ここで、朝鮮通信使祭のパレードについて簡単に紹介したいと思います。（財）釜山文化財団が主催し、毎年、5月の第1土曜日に龍頭山（ヨンドウサン）公園から光復路（クァンボクノ）までの約2kmを韓国側日本側併せて約1,000人で行う大規模なパレードです。



まず出発にあたり、集合場所になっている厳原港ターミナルにて43名の名前と顔を覚えるのに必死でした。昨日の夕食すら思い出せない程の記憶力の悪さから、まず名簿にその人の顔の特徴や服装を記入していきました。例えば、ロン毛色黒、メガネ中間管理職風などと。（のちにこの名簿は2泊3日、常にズボンのポケットに携帯していました。）

無事に出国手続きを済ませ、高速船に乗り込みました。2時間程で釜山へ到着しますが、もちろん船内でも人間観察です。（ここ対馬は、釜山への定期航路があり、韓国2社、日本1社（JR九州）で運航しています。2012年は、対馬への韓国人旅行者が約15万人と空前の「対馬ブーム」が起っています。）

釜山へ到着し入国手続きを済ませ、バスでホテルに移動しました。対馬を出発したのが16時30分だったのでホテルに着いたのは19時になっていました。20時から43名の仲間達と、夕食（プテチゲ）をとりました。ビール（メクチュ）片手に43

名と挨拶を交わしていく中、メクチュで麻痺してきた脳が容量オーバーになったせいか、相手の名前を覚えるより私の名前を覚えてもらった方が早いと思い、メクチュから百歳酒（ペクセジュ）と「信（よしみ）を通わす」ごとく懇親を深めると同時に、酒量のギアも上がっていったのでした。こうして、韓国初日の夜を堪能しました。

次の日、いよいよ本番です。役員と共に衣装や道具の準備を行い、「対馬の守」役の坂本県議を筆頭に27名の武士団でパレードに参加したのでした。まず、龍頭山公園にて出発セレモニーがあり、(財)釜山文化財団代表理事や釜山市長、日本側から在釜山総領事や対馬市長、通信使にゆかりのある多くの自治体からの参加がありました。

韓国という国は、イベントを盛り上げたり一緒に楽しむという、いわゆる「ノリが良い」国です。セレモニーの段階から日韓のそれぞれの参加者や来場者、ボランティアスタッフで会場の雰囲気は最高潮となっています。ここには、国籍や人種は存在しません。ただ祭りを純粹に楽しむという「地球人」達が集まっているだけです。まさに、「誠信の交隣」です。我々もセレモニーの段階から胸が高鳴る思いをしていました。



司会者のカウントダウンの後、色鮮やかな風船と紙吹雪が合図でパレードのスタートとなりました。沿道には溢れんばかりの人！人！人。沿道の中には、ゴールデンウィークということもあり、多くの日本人も見受けられました。



我々武士団も、「対馬の守」、「雨森芳洲」を筆頭に対馬藩武士を見事に演じました。パレードの最中、沿道の韓国人と一緒に写真を撮ったり、中にはテレビ局の取材を受けている方もいました。釜山は対馬から約50kmと大変近いことから、気候もあまり変わりませんが、5月だというのに初夏を思わせる暑さと人々の熱狂の熱さで、パレードの終わり頃にはみんな汗だくとなっていました。沿道からの大きな歓声と拍手で我々の心は、日本では感じたことのない清々しい気持ちになっていました。



パレードも無事終了し、前夜と違いこの日の懇親会は一つのイベントを成し遂げた一体感で溢れていましたが、寄稿のテーマが「朝鮮通信使祭パレードin釜山」なので、釜山の2日目の夜は割愛させていただきます。

翌日、帰国の日となりました。役員で衣装等の荷物の整理を行い、釜山国際ターミナルへ行き、出国手続きを終え帰国の途へとりましたが、帰りの高速船の中では、2日前の自分とは明らかに違う自分がそこにいました。一人一人の顔を見ながら2日間の思い出を回顧する船中となり、まだ異動して5日目の私ですが、みなさんに助けられ成長させられた旅となりました。今年の5月には、一回り成長した2度目の引率の旅となるでしょう。

260年という長きの間「平和の象徴」であった朝鮮通信使。この朝鮮通信使という世界的にも類を見ない歴史の一端に携われたことに改めて感謝したいと思います。

我々、朝鮮通信使行列振興会では、毎年8月の第1日曜日に行われています対馬市での最大のイベント「対馬アラン祭」にて朝鮮通信使行列の再現を行っています。史実に基づいた再現を行っており、規模も400名と大変荘厳な行列で、国内はもとより、韓国の方もたくさん来ていただいております。これを拝読して頂いた方、「朝鮮通信使」最初の寄港地、国境の島「対馬」へ是非おいで下さい。ありがとうございました。

2013年は4年ぶりの「日本歩き」 (第4次21世紀の朝鮮通信使ウォーク)

21世紀の朝鮮通信使 友情ウォークの会
会長 遠藤 靖夫

「性懲りもなくよくやるなあ」友人、知人に冷やかされながら第4次ウォークの準備を進めています。

2年に1度のこのウォーク、前回の第3次(2011年)が東日本大震災の直後で国内のウォークを断念し、ソウル-釜山の実施だけに終わったことはみなさんご存じと思います。



従って、4年ぶりの対馬-東京となるわけですが、この空白期間を厳しく受け止めています。自治体などでは担当者が変わり、沿道の人々の記憶からも風化していないか、と思うからです。縁地連加盟関係のみなさんにはこの欄を通じてご支援、ご声援をお願い申し上げます。

さて、第4次も4月1日ソウルの景福宮を出発、5月20日に東京の皇居を經由して日比谷公園にゴールします。船とバスの800キロを含めて全行程2000キロの旅です。

日本隊は27人が景福宮に参集します。このうち12人が初参加で女性は14人。最年長の鈴木喜代子さん(東京)は80歳とこれまでの年長記録(79歳)を塗り替えます。また、75歳の佐藤恵子さん(秋田)は3回目の全行程参加、李恵美子さん(大阪)がソウル-釜山に連続4回の参加、と女性陣の健闘が際立つわれわれのチームです。

初参加者のうち、半数はウォークと無縁の人たちですが、申し込んできた時点で「毎日、1時間5キロのペースで1~2時間歩いて下さい」とお願いしています。これまでの経験からそれを忠実に実践さえしてくれば、ソウル-東京の1200キロは歩けるものです。まだ、縁地連加盟の団体や個人の方の参加が一人もいないのは残念ですが、「歩く自信がない」理由だったら心配ご無用。みんなで歩けば歩けるものなのです。



うれしい話も届いています。岐阜県垂井町の郷土史家から「雅楽で歓迎したい」との申し出があり、蘭島文化振興財団の柴村隆博事務局長は下蒲刈小児童たちとの交歓会を準備下さっています。各地のウォーク仲間からもデーリー参加で応援したい、というエールがたくさん寄せられています。

第4回も朝鮮通信使のPRをしながら歩きます。よろしく申し上げます。

第4次 21世紀の朝鮮通信使 ソウル～東京 日韓友情ウォーク

日次	日付	出発地	到着地	距離(km)	
第1日	4月1日(月)	ソウル・景福宮	良才(ヤンジエ)	スタート	27
第2日	4月2日(火)	良才(ヤンジエ)	龍仁(ヨンイン)		29
第3日	4月3日(水)	龍仁(ヨンイン)	安城市竹山(ジユクサン)		37
第4日	4月4日(木)	安城市竹山(ジユクサン)	陰城郡昆池厓(コンジエ)		23
第5日	4月5日(金)	陰城郡昆池厓(コンジエ)	忠州(チュンジュ)		38
第6日	4月6日(土)	忠州(チュンジュ)	水安保(スアンボ)		24
第7日	4月7日(日)	水安保(スアンボ)	聞慶(ムンギョン)		22
第8日	4月8日(月)	聞慶(ムンギョン)	聞慶市・虎溪(ホゲ)		26
第9日	4月9日(火)	聞慶市・虎溪(ホゲ)	醴泉(イェチョン)		30
第10日	4月10日(水)	醴泉(イェチョン)	安東(アンドン)		34
第11日	4月11日(木)	(歴史探訪日)			
第12日	4月12日(金)	安東(アンドン)	義城(ウイソン)		33
第13日	4月13日(土)	義城(ウイソン)	軍威郡・義興(ウイフン)		26
第14日	4月14日(日)	軍威郡・義興(ウイフン)	永川(ヨンチョン)		40
第15日	4月15日(月)	永川(ヨンチョン)	慶州(キョンジュ)		37
第16日	4月16日(火)	(歴史探訪日)			
第17日	4月17日(水)	慶州(キョンジュ)	慶州市・仇於(九魚)(クオ)		21
第18日	4月18日(木)	慶州市・仇於(九魚)(クオ)	蔚山(ウルサン)		24
第19日	4月19日(金)	蔚山(ウルサン)	梁山市・熊上(ウンサン)		29
第20日	4月20日(土)	梁山市・熊上(ウンサン)	釜山市・東萊(トンネ)		25
第21日	4月21日(日)	(休養日)		(韓国内距離)	525
第22日	4月22日(月)	釜山市・東萊(トンネ)	対馬・厳原	高速船移動	
第23日	4月23日(火)	(交流日)			
第24日	4月24日(水)	対馬・厳原	(博多・上関・広島経由) 呉	ジェットフォイル&バス移動	
第25日	4月25日(木)	呉	(下蒲刈経由) 福山・鞆の浦	バス移動	
第26日	4月26日(金)	福山・鞆の浦	瀬戸内・牛窓	バス移動	
第27日	4月27日(土)	瀬戸内・牛窓	大阪	バス移動	
第28日	4月28日(日)	大阪	枚方		28
第29日	4月29日(月)	枚方	京都		31
第30日	4月30日(火)	(交流日)			
第31日	5月1日(水)	京都	草津		27
第32日	5月2日(木)	草津	近江八幡		23
第33日	5月3日(金)	近江八幡	彦根		27
第34日	5月4日(土)	彦根	垂井		34
第35日	5月5日(日)	垂井	尾張一宮		37
第36日	5月6日(月)	尾張一宮	名古屋・鳴海		37
第37日	5月7日(火)	(交流日)			
第38日	5月8日(水)	名古屋・鳴海	岡崎		29
第39日	5月9日(木)	岡崎	豊橋		33
第40日	5月10日(金)	豊橋	浜松		41
第41日	5月11日(土)	浜松	掛川		35
第42日	5月12日(日)	掛川	藤枝		31
第43日	5月13日(月)	藤枝	静岡・清水		36
第44日	5月14日(火)	(交流日)			
第45日	5月15日(水)	静岡・清水	富士・吉原		32
第46日	5月16日(木)	富士・吉原	三島		31
第47日	5月17日(金)	三島	小田原		31
第48日	5月18日(土)	小田原	藤沢		37
第49日	5月19日(日)	藤沢	川崎		33
第50日	5月20日(月)	川崎	東京・皇居・日比谷公園	ゴール	20
				(日本国内距離)	633
				(歩行距離合計)	633

エントリーメンバー（2月5日現在）

○印は初参加

■ソウルー東京（13人）

○朴孝子(福島)、押川晃三(大阪)、中村進(東京)、遠藤靖夫(埼玉)、嶋文子(東京)、佐藤恵子(秋田)、○小林義雄(長野)、大野卓(埼玉)、○熊倉澄子(東京)、金井三喜雄(埼玉)、鈴木喜代子(東京)、○李光吉(京都)、○鴨澤道子(東京)

■ソウルー釜山（14人）

稲垣ユキ(北海道)、阿部覚(埼玉・プラス静岡ー東京)、中村正(宮崎・→大阪)、延与恭子(三重)、○石川進(群馬・→大阪)、李恵美子(大阪・→福岡)、○森紀子(東京・→大阪)、○高橋清(東京・→大阪)、○牛尾恵子(埼玉・→福岡)、○小田貢司(東京・→福岡)、菅洋子(北海道・→大阪)、大嶋敏晴(東京)、○渡部園子(東京・→福岡)、○秋元久代(栃木・→福岡)

■対馬ー東京（2人） 松村利子(静岡)、阿部捷男(長崎)

■京都ー東京（1人） 鎌田悦子(北海道)

=以上が本隊員

■対馬ー名古屋（4人）

吉尾二郎(東京)、安斎健治(福島)、江平清(埼玉)、太田太(福島)

■対馬ー大阪（6人）

深沢茉莉(東京)、李蓮玉(和歌山)、嶋村豊一・トミ子(埼玉・福岡→大阪)、吉本光一(福岡・福岡→大阪)、寺田達雄(千葉・福岡→大阪)

■京都ー名古屋（1人） 岡安サダ子(神奈川)

■国内区間

竹野昇(静岡・近江八幡ー垂井)、渡辺博道(千葉・三島ー東京)、篠崎幸江(新潟)、小島喜代子(群馬)、山本宣子(東京・川崎ー東京)、安貞一(滋賀・京都ー尾張一の宮)



2013 朝鮮通信使祭りのお知らせ！



■日付 2013年5月3日(金)～5月5日(日)

■場所 釜山広域市の龍頭山公園・光復路一円

2013 朝鮮通信使祭り日程表(案)

区分	行事名	日付	場所	備考
2013 朝鮮通信使 祭り (5.3～5.5)	通信使と遊ぼう!!	5.3(金)～5.5(日)	龍頭山公園広場・ 光復路一円	朝鮮通信使緑地観光物産展・ 舞台公演・体験イベントなど
	朝鮮通信使 学術シンポジウム	5.3(金)13:00	釜山市役所 国際会議室	基調講演及び朝鮮通信使研究 発表／討論／学術紙発刊 (朝鮮通信使学会支援)
	朝鮮通信使の夕べ	5.3(金)18:00	龍頭山公園 特設舞台など	3使任命式・接迎式・海神祭・ 韓日芸術団の交流公演
	韓日ミュージックコンサート	5.4(土)19:00	龍頭山公園 特設舞台	両国の代表ミュージシャン招請 友情公演
	2013朝鮮通信使 平和の行列	5.4(土)13:00	龍頭山公園 光復路入口	○韓日参加団体の街頭特別公演 ○出発式 ○1,500名規模のパレード
	交流晩餐会	5.4(土)19:00	釜山市内 ホテル	○参加来賓及び芸術団体同士の 相互交流晩餐会 ○姉妹都市間の文学交流作品の 出版記念イベントなど



高麗美術館

こうらいびじゅつかん
고려미술관

2013年度展覧会のご案内

コレクション名品展Ⅰ

朝鮮のやきものと木工芸

—日本の「民芸」との関わり—

4月6日(土)～6月2日(日)

数ある朝鮮の工芸品のなかで、もっとも親しまれているのが陶磁器と木工芸品です。高麗青磁や螺鈿漆器にみる細やかな文様表現は、朝鮮時代になると大らかな温かみ加わり、形を生む「線」にこそすべてが凝縮されていきます。

本展では、高麗美術館所蔵のやきものと木工芸品、そして現在に息づく「民芸」の原点にも着目します。 ※茶話会や「キズもの、レアもの古本市」等を予定



白磁壺

木角箱



青磁開利湯呑文様彫碗



景図



青磁象嵌印花文陶匣

特別展
朝鮮通信使と京都

「誠信の交わり」への道

—松雲大師と雨森芳洲—

10月19日(土)～12月23日(月・祝)

室町時代から江戸時代にかけて、朝鮮国王の使者である「朝鮮通信使」が日本を訪問し、さまざまな足跡をのこしました。文禄・慶長の役で一旦緊張化した両国の国交回復には朝鮮の義僧・松雲大師による京都伏見での交渉を機にその礎が築かれ、江戸時代の通信使の往来がはじまりました。このたびは歴史の舞台として常に重要な位置付けにあった京都に焦点を当て、京の名刺に伝わる書画や高麗茶碗などから朝鮮文士と京都ゆかりの文人との交流を偲び、雨森芳洲の唱えた隣国との「信(よしみ)」について考えます。

朝鮮通信使行列絵巻(部分)



※通信使ゆかりの京の名刺フィールドツアー、記念講演会等を予定



松雲大師筆 草書詩文(複製)

コレクション名品展Ⅱ

朝鮮の絵画と仏教美術

6月8日(土)～8月11日(日)

十数年ぶりの公開となる伝・金弘道作「出山釈迦図」をはじめ、朝鮮時代の有名画家の作品や民間に親しまれた「鵲虎図」「文房図」を展示します。また仏教美術としては「熾盛光如来降臨図」「十王図」等の仏画のほか、高麗時代の舍利器や香炉等の金工品、さらに、朝鮮時代後期の仏像も併せて展示します。絵画の名品、そして様々な仏教美術をじっくりとご覧いただける機会です。

※展示解説や軸物取扱のワークショップを予定



鉄造如来坐像

出山釈迦図



企画展

朝鮮文化と京都

—高麗美術館コレクションに見る「韓流」の歴史—

8月17日(土)～10月14日(月・祝)

千年の古都・京都は、平安時代から続く日本の歴史と文化を継承する伝統の町です。一方で、有名な寺社や史蹟には朝鮮とのかかわりを持つところも多く、渡来系氏族が活躍した地域が点在しています。本展では京都に息づく朝鮮文化をテーマに「もうひとつの京都」を紹介しながら、当館所蔵品を時代に沿って幅広く展示します。

※朝鮮文化ゆかりの遺跡めぐり等を予定



人面文瓦当

新春企画展

韓国刺繍博物館コレクション
ポジャギとチュモニ展

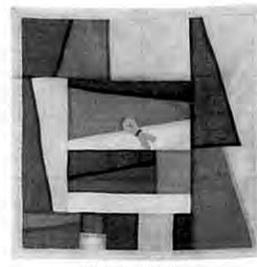
—針一針に想いを込めて「福」を贈ります。

2014年 1月8日(水)～3月30日(日)

近年とみに脚光を浴びている韓国伝統のポジャギ。それら丹精を込めて作られた女性の手仕事による針と糸の造形には「韓国の粋」が溢れ、現代の人々を魅了しています。

本展では、韓国刺繍博物館(許東華館長、韓国ソウル市江南区)の選りすぐりのポジャギ40点とチュモニ(袋物、囊、ポシェット)25点、そして高麗美術館のポジャギを展覧します。

※「ポジャギづくり教室」や「韓国・ポジャギの旅3泊4日」を予定



ポジャギ(韓国刺繍博物館)

※展覧会の名称、内容等は一部変更になる場合があります。

2013.1.1

縁地連事務局(対馬市)からのご挨拶

事務局長 対馬市観光物産推進本部
阿比留 正 臣

朝鮮通信使縁地連絡協議会の事務局を昨年5月から担当しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

担当になってすぐに「朝鮮通信使のユネスコ登録の取り組み」がはじまり、あまりのも大きな取り組みに面食らっております。しかしながら、これまで朝鮮通信使を盛り上げて来られた会員皆様の集大成ともいふべきこの取り組みに事務局長として携わることができることは、無上の喜びでもあります。微力ながら、皆様のお役に立てるようがんばりたいと思います。皆様のご指導とご協力をいただきますようお願いいたします。

ご存じのように、2015年は日韓国交正常化50周年を迎えます。これに合わせて朝鮮通信使に関するイベントを国の事業として開催できるよう縁地連として政府機関に働きかける活動しております。何かいいイベントのアイデアがありましたら、お知らせいただきますようお願いいたします。

ただ今ホームページの整理作業をしており、ホームページが表示できません。大変ご迷惑をお掛けいたしております。その代わりにブログを開設しており、アドレスは裏表紙に記載しております。イベントのお知らせ、会議内容の報告、ときにはイベントの開催中にも写真をアップしたりしております。是非覗いてみてください。

昨年ひきつづき今年も「ユネスコ登録に対する取り組み」が大きな活動内容のひとつとなります。5月末には理事会、11月2・3日には「朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会瀬戸内大会」が開催されます。瀬戸内市が実行委員会を立ち上げ、どんどん準備を進めていただいています。皆様の積極的な参加をお願いいたします。



2011年対馬大会の折、易地聘礼儀式終了後
左から、事務局長の「阿比留正臣」、
宗対馬守末裔「宗中正様」、対馬守役「舍利倉政司様」

朝鮮通信使縁地連絡協議会 会員名簿

2013.3.1 現在

	自治体	住 所	UコードQR
1	日光市	栃木県日光市今市本町1 日光市教育委員会 文化財課	
2	静岡市	静岡県静岡市葵区追手町5-1 静岡市役所 生活文化局 文化財課	
3	大垣市	岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地 大垣市役所 経済部商工観光課	
4	長浜市	滋賀県長浜市高月町渡岸寺160 長浜市高月支所 地域振興課	
5	近江八幡市	滋賀県近江八幡市桜宮町236 近江八幡市役所 総合政策部 まちづくり支援課	
6	彦根市	滋賀県彦根市元町4-2 彦根市役所 企画振興部 企画課	
7	京都市	京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺町488 京都市役所 国際化推進室	
8	兵庫区	兵庫県神戸市兵庫区荒田町1-21-1 兵庫区役所 まちづくり課	
9	瀬戸内市	岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1 瀬戸内市役所 まちづくり推進課	
10	福山市	広島県福山市東桜町3-5 福山市教育委員会 文化課	
11	呉市	広島県呉市中央6-2-9 呉市役所 観光振興課	
12	上関町	山口県熊毛郡上関町長島503 上関町教育委員会 教育文化課	
13	下関市	山口県下関市南部町1-1 下関市役所 市民文化課	
14	壱岐市	長崎県壱岐市石田町石田西触1290 壱岐市教育委員会 文化財課	
15	対馬市 (会長・事務局)	長崎県対馬市厳原町国分1441 対馬市役所 観光物産推進本部	



「UコードQR」欄の画像を携帯電話のバーコードリーダーで読み取ると、その団体が登録しているコンテンツ情報を閲覧することができます。

朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

2013.3.1 現在

	団 体	住 所	UコードQR
1	青丘人権文化の会	大阪府門真市南野口町23-3	
2	公益財団法人 高麗美術館	京都府京都市北区柴竹上ノ岸町15	
3	かみのせき郷土史学習にんじゃ隊	山口県熊毛郡上関町室津549-9	
4	津市分部町唐人踊保存会	三重県津市東丸之内6-15	
5	唐子踊保存会	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓5013	
6	芳洲会	滋賀県長浜市高月町雨森1166 雨森芳洲庵内	
7	朝鮮通信使行列振興会	長崎県対馬市厳原町国分1441	
8	対馬芳洲会	長崎県対馬市厳原町日吉388-9	
9	「静岡に文化の風を」の会	静岡県静岡市葵区上足洗3-12-39	
10	日朝協会愛知県連合会	愛知県名古屋市中種区小松町6-9-1	
11	日朝協会神奈川県支部連合会	神奈川県横浜市神奈川区泉町14-6 小林ビル3階	
12	唐辛子の会	静岡県伊東市池614-16	
13	東京対馬会	東京都大田区大森中2-6-6	
14	日朝協会東京都連合会	東京都千代田区三崎町2-11-13 東洋ビル501	
15	九州の中の朝鮮文化を考える会	福岡県筑紫野市筑紫駅前通2-252	
16	日韓交流・新宮チェビの会	福岡県糟屋郡新宮町下府1丁目2-31	
17	日本コリア協会・大阪	大阪府大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館2階	
18	兵庫津・朝鮮通信使を知る会	兵庫県神戸市長田区腕塚町3-3-5	



「UコードQR」欄の画像を携帯電話のバーコードリーダーで読み取ると、その団体が登録しているコンテンツ情報を閲覧することができます。

縁地連だより

朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

2013.3.1 現在

	団 体	住 所	UコードQR
19	日本コリア協会・福岡	福岡県糟屋郡新宮町下府1丁目2-31	
20	呉史談会	広島県呉市西中央1-6-15-201	
21	対馬観光物産協会	長崎県対馬市厳原町国分1441	
22	(財)蘭島文化振興財団	広島県呉市下蒲刈町下島2361-7	
23	NPO法人辛基秀と朝鮮通信使を研究する青丘文化ホール	東京都港区元麻布2-3-34	
24	かみのせき史談会	山口県熊毛郡上関町室津868-2	
25	在日本大韓国民団大阪府堺支部	大阪府堺市堺区中安井町1-3-1	
26	対州海運株式会社	長崎県対馬市厳原町久田道1661	
27	21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会	埼玉県さいたま市緑区中尾275-4	
28	株式会社 コミュニティメディア	長崎市出島町1番43号 ながさき出島インキュベータ307号室	
29	在日本大韓国民団京都府地方本部	京都府京都市左京区下鴨宮崎町119	
30	軻の浦朝鮮通信使研究会	広島県福山市今津町893	
31	倭館再建の会	東京都杉並区高円寺北2-19-11 エイトコラムス内	
32	ギンザ柳々舎	東京都中央区銀座3-11-1 銀座三番館ビル2F オフィスイーヨー内	
33	川越唐人揃いパレード実行委員会	埼玉県さいたま市緑区中尾729-1	
34	社団法人 韓国体育振興會	大韓民国seoul中區光熙洞1街89-1 Geumho Twin Officetel 2-702	
35	釜山 素木會	大韓民国釜山広域市東區草梁上路92	
	朝鮮通信使地域史研究会	山口県熊毛郡上関町室津549-7	



「UコードQR」欄の画像を携帯電話のバーコードリーダーで読み取ると、その団体が登録しているコンテンツ情報を閲覧することができます。

2013.3.1 現在

	個 人	住 所
1	堀 ちず子	広島県廿日市市
2	高 木 陽 二	神奈川県横須賀市
3	奥 村 隆 幸	岡山県瀬戸内市
4	中 尾 清	兵庫県神戸市灘区
5	大 賀 正 行	大阪府大阪市東淀川区
6	原 田 令 嗣	静岡県焼津市
7	渡 辺 泰 子	埼玉県さいたま市浦和区
8	萩 原 昭 一	長崎県対馬市
9	轟 博 志	大分県別府市
10	夫 学 柱	東京都杉並区
11	村 上 和 弘	愛媛県松山市
12	神 谷 敏	愛知県西尾市

誠信交隣21
縁地連だより No.16

発行日 2013年(平成25年)3月25日

発行 朝鮮通信使縁地連絡協議会

〒817-0022

長崎県対馬市厳原町国分1441番地

TEL 0920-53-6111

FAX 0920-52-1585

HPアドレス <http://www.enchiren.net/>

印刷 (資)厳原印刷所



2012年5月 釜山市 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会

● 朝鮮通信使縁地連絡協議会公式ブログ(随時更新中) ●

パソコンURL : <http://enchiren.exblog.jp/>

携帯電話URL : <http://mblog.excite.co.jp/user/enchiren/>